

平成30年10月24日

(あて先) 一宮市長

〈申請者〉

所在地 〒493-0001 一宮市木曾川町黒田字北宿2の切238

団体名 特定非営利活動法人 木曾川文化・スポーツクラブ

代表者 職・氏名 理事長 日比野 隆夫

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	地域スポーツ教室紹介事業		
2 事業の分野 〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。〕	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他()	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	2,931,680 円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	4,397,520 円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	4,397,520 円
当該事業によって得られる収入 (c)	935,500 円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	2,931,680 円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書(様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書(様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書(様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	特定非営利活動法人木曾川文化・スポーツクラブ		
市内事務所の所在地	〒493-0001 一宮市木曾川町黒田字北宿2の切238		
代表者職・氏名	理事長 日比野 隆夫		
設 立 年 月	H19年 12月	構成員の人数	917人
U R L	http://kisogawa-csc.com/		
連 絡 先	(担当者氏名) 日比野 隆夫		
※この申請に関する 問合せに対応できる方	電 話	0586-86-8251	F A X 0586-86-8252
	E-mail	hibino_t@nifty.com	
団 体 の 目 的	スポーツ活動及び文化活動の普及推進に関する事業を行い、スポーツ・文化の振興を図るとともに、地域住民の健全な心身の育成に寄与することを目的とする		
主 な 事 業 内 容	学術・文化・芸術またはスポーツの振興を図る活動 子供の健全育成を図る活動		
主 な 活 動 の 実 績	スポーツ教室（17種目）の開催（通年） スポーツフェスティバルの開催（5月） 体力テストの実施（6月） 工作フェスティバルの開催（8月） ソフトバレーボール等各種スポーツ大会の開催 地域市民活動・公民館活動の協力 生涯学習課事業（国際交流事業）の協力 各種研修会・講習会の開催		
今年度予算額	10,610,000円	昨年度決算額	9,755,286円
条例第2条第3項に掲げる要件について	<input checked="" type="checkbox"/> すべて満たしている ・ <input type="checkbox"/> 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有（補助金等の名称： ） ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 木曾川文化・スポーツクラブ</p>
<p>事業の名称</p>	<p>地域スポーツ教室紹介事業</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間（準備期間や後処理期間も含めてください） 2019年4月1日 ～ 2020年3月31日</p> <p>(2) 実施場所 木曾川体育館・木曾川中学校・木曾川西小学校・木曾川東小学校・黒田小学校・木曾川サブグラウンド・木曾川運動場 等</p> <p>(3) 受益対象者 一宮市民</p> <p>(4) 実施体制 当クラブのスタッフ5名で事務を担当、スポーツ教室の実施は各クラブのスタッフが行います。</p> <p>(5) 具体的な内容 バレーボール少年団教室・ソフトバレー教室・ジュニアソフトバレー教室・バスケットボール教室・ミニバスケット教室・ジュニアバスケット教室・体操教室・タスポニー教室・剣道教室・柔道教室・空手道教室・JBC教室・ソフトテニス教室・親子ソフトテニス教室・サッカー教室・サタデークラブ・ショートテニス教室の17教室の紹介事業であり、それぞれの種目を自由に選択（複数も可）してもらい各教室に参加ができ、誰もが気軽にスポーツを楽しむためのシステムを紹介します。そのために、事業活動募集用チラシ等を制作して広報活動を行います。また、事業の継続のために指導者の確保と養成が課題となっています。そこで、現在教室に参加している方や既存の指導者のために研修会を開きます。主に新たに指導者になるもの及び3年未満の指導者、親指導者に対して、プレイヤーと指導者の違いを認識してもらい、スポーツを「安全に、正しく、楽しく」指導し、その「本質的な楽しさ・素晴らしさ」を伝えられる指導者を養成すると共に、教室の継続をするために指導者として継続するための心得も学び、安定した教室運営ができるようにしていきます。</p>
<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>教室活動のアピールなどにより、前年度と比較して参加者数は減少したものの、一定の成果があがったと思います。また、スポーツの情報提供や教室・大会などの参加促進を図ることで、スポーツを通じて市民が健康になれる機会を提供できたと考えます。これらの成果から、今後も継続して教室活動をアピールして教室への参加の機会を提供します。また、事業を通じて指導者の確保と養成を進めていくことにより、指導者が育成され教室数の増加が見込めると同時に参加者の増加も期待できると考えます。</p>
<p>当該事業を実施する理由 ※目指す地域・社会</p>	<p>これまでの地域スポーツは、行政主導で行われ安価に受益者となるのが当たり前となっていました。しかし、これからの地域におけるスポーツの形態は行政主導から、住民主導型とならなくてはならないと思います。住民が主体となって、「いつでも、どこでも、いつまでも」誰もが気軽にスポー</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>ツに触れ参加できる事業を目指して、学校や地域の他団体と連携し子供からお年寄りまで多世代にわたり、それぞれのレベルに応じたプログラムを提供し、誰もが楽しくスポーツができる環境づくりを目指しています。また、社会的課題として運動不足の解消と、運動する機会の増加のニーズが高まっています。当クラブでは様々な教室の開催と子供から大人、女性、高齢者までの幅広いニーズを満たすことのできる教室を備えていることから、これらの問題解決とニーズを満たすことができると考えます。文部科学省の調査でも、子供の体力・運動能力は低下しているという結果が出ています。また、運動不足が原因の肥満も問題となっています。からだを使った外遊びや運動・スポーツにかかわる「3つの間」、すなわち時間、空間、仲間を確保することが難しくなっており、現代社会の抱える根本的な問題が大きな影響を与えていると考えられます。また、厚生労働省の調査によると現役を退いた高齢者は社会的な関わりが少なくなり家にひきこもりがちになりやすく、身体活動量が低下する傾向にあるという結果が出ており、高齢者に適した趣味活動を行うことが望まれています。このような問題に対しても当クラブがスポーツ教室を行う役割は大きいと考えます。地域に根差したスポーツ教室を市民の皆さんに知ってもらい、参加してもらうことで地域の人々が自主運営で作り上げていくスポーツ事業として発展し、地域住民の心身の育成を通じて地域に貢献したいと思います。また、指導者の確保と育成について課題を持っている団体は少なくありません。指導者不足で教室が閉鎖してしまうケースも発生しています。そこで、教室参加者から競技年数や技術が高い方を指導者として育成することで、継続した事業として続けていけるようにしていき、市民の健康に資するよう活動していきます。</p>	
<p>費用負担について ※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>地域の方が、「いつでも、どこでも、いつまでも」誰でも気軽にスポーツを楽しめるクラブを目指していることから、手軽な参加料を設定することにより誰でもスポーツ教室に参加することが可能となっています。参加者も毎年増加しており、スポーツをする機会のニーズも高まっています。民間と同じような高価格の参加料を設定してしまうと、前述のニーズにそぐわなくなります。地域の公共スポーツ施設は整備が進められていますが、身近で誰もが利用しやすいスポーツ施設の不足感は現在も大きい状態です。その、地方公共団体で満たすことのできないニーズを当クラブで満たして、地域の課題解決に貢献いたします。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p>	<p>内 容</p>
	<p>通年 4月～3月</p>	<p>バレーボール少年団教室・ソフトバレー教室・ジュニアソフトバレー教室・バスケットボール教室・ミニバスケット教室・ジュニアバスケット教室・体操教室・タスポニー教室・剣道教室・柔道教室・空手道教室・JBC教室・ソフトテニス教室・親子ソフトテニス教室・サッカー教室・サタデークラブ・ショートテニス教室</p>
	<p>6月～12月</p>	<p>指導者研修</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 特定非営利活動法人木曾川文化・スポーツクラブ

事業の名称 地域スポーツ教室紹介事業

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	2,931,680	
事業収入	935,500	【参加費】タスポニー 20名×3000円=60000円 ソフトバレー 45名×3500円=157500円 バレーボール少年団 30名×12000円=360000円 ジュニアソフトバレー 10名×3800円=38000円 親子ソフトテニス 10名×12000円=120000円 サクデークラブ 10名×4000円=40000円 ソフトテニス 10名×12000円=120000円 ショートテニス 10名×4000円=40000円
自主財源	530,340	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ()
計	4,397,520	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	3,138,000	3,138,000
旅費		
印刷製本、消耗品費	540,000	540,000
食糧費		
通信費、手数料		
備品費		
人件費		
使用料、賃借料	719,520	719,520
その他		
計	4,397,520	4,397,520

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費	3,138,000	講師謝礼@1600円×1名×1680回=2,688,000円
	3,138,000	JBC116回・バスケット52回・ジュニアバスケット52回・タスポニー76回・ジュニアソフトバレー53回・ソフトバレー105回・空手道157回・柔道157回・剣道157回・体操105回・ミニバスケット157回・サッカー156回・ソフトテニス52回・親子ソフトテニス52回・サテークラブ24回・バレーボール少年団156回・ショートテニス53回 計1680回 指導者研修講師謝礼 10回×3名×@15000円=450,000円
旅費		
印刷製本、 消耗品費	540,000	クリアファイル作成費 3,000枚×100円+消費税8%=324,000円
	540,000	事業活動募集中チラシ作成費 5,000枚×40円+消費税8%=216,000円
食糧費		
通信費、 手数料		
備品費※2		
人件費		
使用料、 賃借料	719,520	会場使用料 一宮市木曾川体育館 88回×4200円=369,600円 学校施設 339回×480円=162,720円
	719,520	一宮市木曾川運動場テニスコート 78回×2400円 =187,200円
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを（ ）書きで再掲してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。